



ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN

WEEKLY BULLETIN

創 立 1969. 5. 30 会 長 南 賀 勝 之
幹 事 濱 田 由 弘 会 報 委 員 長 岩 永 建 保

RI 2660地区
大阪城南ロータリークラブ

NO. 2267

2016-2-26

事務所 〒542-0012 大阪市中央区
谷町9丁目1番22号NK谷町ビル407号
TEL(06)6796-9898 FAX(06)6796-9899
http://www.osaka-johnan-rc.org/
E-mail:johnan25@crocus.ocn.ne.jp
例会場 シェラトン都ホテル大阪 上本町6-1-55
TEL (06)6773-1111
例会日 金曜日 12:30

Rotary  Be a gift to the world
世界へのプレゼントになろう

2015-2016年度国際ロータリー会長 K.R. ラビンドラン

本日の例会) 2月26日(第4例会)

- 卓話 「ウイルス感染症 インフルエンザを中心に」
浅井 晃会員

ゲスト 1名

ビジター 0名

計 48名

ホームクラブ出席率 100%

2月5日(第1例会) 補正出席率 97.73% (MU 2名)

次週のお知らせ) 3月4日(第1例会)

- 表彰・ホームクラブ連続皆出席
- お祝・誕生日 結婚記念日 入会記念日
会社創立記念日
- 卓話 雑誌「ロータリーの友」・ロータリーの広報・
MY ROTARY 登録についての解説と東日
本大震災以後の大阪城南RCの東北支援
の記録
雑誌については委員会の取組み、広報
については、図書館の掲示についてと、
MY ROTARY 登録のお願い。東北支援に
ついては、写真を中心に支援の記録を
解説致します。

三木敏裕雑誌・広報委員長

- 理事会 11:30 ~ 12:10
シェラトン都ホテル大阪 3階 ホワイエ
- 食膳 <フランス料理 軽食ワンプレート>

●ゲスト&ビジター (敬称略)

森澤眞輔 (卓話者)

◆会長の時間◆

人道的国際奉仕活動
実践例4

ミャンマーでは人々は大変貧しく、飲料水を確保するため、雨期の雨水を貯蓄するため、女性や子供が遠方の井戸や川などから運ばなくてはなりません。水質は劣悪で、多くの子供達が水が原因で病気になったり、死亡するケースが頻繁におこります。乾期にはそのような水すら不足してしまいます。同国にはロータリークラブはなく、国際財団活動資金や地区補助金も使えませんので、クラブは現金を拠出し、現地NGOグループと協力して各地で井戸をつくりました。井戸ができた部落や村では水質や給水量が安定し、遠方まで水を汲みに行く必要がなくなりました。

次々週のお知らせ) 3月11日(第2例会)

- 卓話 「東京オリンピックと空手」
杉原 茂会員

先週の記録) 2月19日(第3例会)

- 出席報告
出席会員 47名 (内免除会員 13名)
会員総数 51名 (同上 17名)



▲ お祝い贈呈 日弁連会長当選の中本会員

2月は平和と紛争予防／紛争解決月間です!!

〈4つのテスト〉言行はこれに照らしてから

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

◆ 幹事報告 ◆

- 地区より大和川・石川クリーン作戦のご案内が参っております。会員の皆様に回覧をお廻ししておりますので宜しくお願い致します。
- 2月5日の理事会で承認された委員会引継ぎ事業一覧ですが、各委員長様、副委員長様にメールもしくはFAXにて送付致しております。ご確認頂き26日例会までに、ご指摘頂きたいと思っております。宜しくお願い致します。

卓話

2月19日 <第3例会>

「iPS細胞が創る新しい医学・医療」

iPS細胞研究の進展とCiRAの活動



京都大学 iPS 細胞研究所
副所長・教授 森澤眞輔氏
京都大学 iPS 細胞研究所
(CiRA)は、iPS細胞研究に特化した世界でも稀な研究所として、

2010年に設置されました。山中伸弥教授が作成したiPS細胞、iPS細胞技術を医療に応用することを目的に、活動を継続しています。

研究活動は予想を超えるスピードで進展し、10年間で達成する目標として当初に設定した4つの目標を達成する目処がついています。1つ目の目標であるiPS細胞の安全性を高める基盤技術の確立では、国内外で主要な基本特許を取得しました。2つ目の目標である医療用iPS細胞ストックの構築では、平成27年8月、再生医療に使用可能なiPS細胞ストック第1号の提供を開始しました。3つ目の目標では、パーキンソン病や血液疾患について、臨床研究のための準備が着々と進められています。4つ目の目標であるある患者さん由来のiPS細胞を用いる治療法開発についても、軟骨無形成症の患者さん由来のiPS細胞を用いて、他の目的で使用されている既存薬が病態を回復させる効果を有することを発見したり、アルツハイマー病等を対象にiPS細胞を利用する個別化医療を目指した研究を進めています。

研究所では、iPS細胞研究を更に発展させ、患者

さんに新しい医療や薬を届けるために、2030年を達成年度とする新目標を設定し、2015年4月から活動を開始しています。新しい目標は「①iPS細胞ストックを柱と再生医療の普及」、「②iPS細胞による個別化医療の実現と難病の創薬」、「③iPS細胞を利用した新たな生命科学と医療の開拓」及び「④日本最高レベルの研究支援体制と研究環境の整備」です。

iPS細胞およびiPS細胞技術の1日も早い医療応用を目指す私たちの活動に、引続き、ご指導、ご支援を賜ります様お願い致します。

にこにこ箱

2月19日 (第3例会)

- 森澤先生をお迎えして、また、ロータリアンの皆様から祝電等を頂いて。
中本会員
- 中本さん、日本弁護士連合会の会長就任おめでとうございます。
境会員
- 中本さん、おめでとうございます。大阪に来られたら、クラブに顔を出して下さい。
野中会員
- 中本さん、日弁連会長おめでとうございます。ご活躍を期待して。
畑田会員
- 森澤様、本日は卓話宜しくお願いします。
中本会員、日本弁護士連合会会長おめでとうございます。
南賀会員
- ネームプレート先週家に持ち帰り、その上、今日持ってくるのをまた忘れました。そろそろ近いようです。
杉原会員
- 南賀会長、西谷さん、お世話になりました。おかげ様で無事、卓話終わりました。
武田会員
- 今朝、生まれて初めて手術なるものを受けて参りました。緊張の為、ガチガチに！西谷さんとご友人に感謝致します。武田さん、保険金ありがとうございます。少しニコニコに還元します。
原田会員
- 他、お祝い 1件、お詫び 1件

(編集担当 池宮・小原)

会員増強にご協力を!!